		放課後等デイ	<del>リ</del> ー!	ビス専	事業所における自己評価結果	討議日: 令和4年10月3日 <b>果 (公表)</b>
						公表日:令和5年2月13日 課題や改善すべき点を踏まえた
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 十分なスペースを確保しております。特にコロ	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		ナ禍においては、三蜜を避け、机の配置や児童と職員間の適せつな距離に配慮しております。	くことで療育に集中できる環境づくりを目指し
	2	職員の配置数は適切である	9		国の定めた基準以上の人員を満たし、利用児童に合わせた配置に努めています。	今後もサービスの質を確保できるよう職員配置 の確認と、見直しを随時おこなってまいりま す。
	3	事業所の設備等について、バリアフ リー化の配慮が適切になされている	9		室内には段差は無く、バリアフリーで、児童が 転びにくいよう工夫され、また児童の目から見 ても、わかりやすい構造になっています。	
業務改善適切な支援の提供	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		毎日の引き継ぎ時や、月二回のリフレクション 会議にて振り返りや業務改善に努めています。	いつ、どの職員が対応しても同じ手順で安定した支援をおこなえるよう話し合っていきます。 また会議録を作成し、いつでも見直しができるように努めてまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によ りアンケート調査を実施して保護者等 の意向等を把握し、業務改善につなげ ている	9		アンケート実施後、保護者様からいただいたご 意見は速やかに全職員で共有し、業務改善に努 めております。	今後も保護者様からいただいたご意見をもと に、より良い支援ができるように努めてまいり ます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報 やホームページ等で公開している	9		COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開しております。	今後も公式webサイトで公開してまいりま す。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結 果を業務改善につなげている		9	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題と して検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修 の機会を確保している アセスメントを適切に行い、子どもと	9		に研修の機会を確保しています。	今後も、定期的に研修の機会を設け、職員の資質・能力の向上に努めてまいります。
	9	保護者のニーズや課題を客観的に分析 した上で、放課後等デイサービス計画 を作成している	9		アセスメントを定期的に実施し、保護者様のご 意向や児童の状況を踏まえて児童発達支援計画 を作成しています。	アセスメント、並びに担当者去議での情報共有を図り、より良い支援計画を作成出来るよう努めてまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		法人で統一されたアセスメントシートを使用しております。	今後も適せつにアセスメントをおこなうことに より、状況の把握へと努めてまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っ ている	9		職員間で話し合いをおこない、活動内容を立案 しています。	固定化しないよう様々な活動プログラムを立案 することで、児童が楽しく、意欲的に取り組め るよう職員間で話し合いをおこない、工夫を凝 らしてまいります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工 夫している	9		一人ひとりの特性・興味に合う教材を使用し、 プログラムが固定化されないよう工夫していま す。	今後も固定化を避け、児童一人ひとりの発達段階に合わせた学習、学習を通じて学べるプログラム、季節に合わせた行事など、多彩なプログラムを実施していきたいと思います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題 をきめ細やかに設定して支援している	9		平日、休日、長期休みに応じて各児童の課題に 合わせ、支援内容を設定しております。	今後も平日、休日、長期休暇それぞれの時間を活かし、各児童の課題に沿った支援となるようつとめてまいります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	9		一人ひとりの特性に応じた目標を設定し、個別活動・集団活動とを適宜組み合わせた支援計画 を作成しております。	今後も個別活動・集団活動を組み合わせ、個々 に合った支援計画を作成してまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを し、その日行われる支援の内容や役割 分担について確認している	9		業務内容についての共有、および、児童の支援 内容について打ち合わせをおこなっています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せ をし、その日行われた支援の振り返り を行い、気付いた点等を共有している		9	家庭連携や支援内容を周知しております。	より良い支援のため、今後も引き継ぎ確実にお こなってまいります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとる ことを徹底し、支援の検証・改善につ なげている	9		毎日個別経過記録をとっています。記録は支援 の検証・改善につなげています。	今後も細やかな記録の記載を徹底し、より良い 支援がおこなえるよう努めてまいります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後 等デイサービス計画の見直しの必要性 を判断している	9		定期的にモニタリングをおこない、児童の状況、保護者様のご意向に沿った計画を作成出来るよう、見直しをおこなっています。	必要に応じて期間を問わずモニタリングを実施 し、計画の見直しの必要性を検討してまいりま す。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数 組み合わせて支援を行っている	9		ガイドラインの総則の基本活動から複数の活動 を組み合わせ、直接指導にあたる職員の行こう を吸い上げて統一した支援をおこなっていま す。	今後も基本活動を軸に、利用児童が楽しみなが ら成長できるような支援内容を検討していきま す。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当 者会議にその子どもの状況に精通した 最もふさわしい者が参画している	9			各関係機関との連携は重要ですので、児童発達 支援管理責任者が参加していくことで児童の状 況を共有出来るよう努めてまいります。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9		送迎の為の下校時間の確認や、学校での児童の様子について情報共有をおこなっております。	学校との連絡調整は支援を行っていくうえで必要不可欠ですので、今後もしっかりと情報共有が出来るよう努めてまいります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れ る場合は、子どもの主治医等と連絡体 制を整えている		9	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚 園、認定こども園、児童発達支援事業 所等との間で情報共有と相互理解に努 めている	9		就学前から弊社児童発達支援を利用していた児童が多く、当時在籍していた事業所の情報も相談支援専門員より共有していただき、状況把握に努めております。	今後も児童の支援に必要な情報を関係機関と共 有していけるよう努めてまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス 事業所から障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容 等の情報を提供する等している	9		現時点では対象となる児童がいませんが、その 時期になったときに適切に対応出来るよう情報 の整理をしております。	今後対象児童については、保護者様や障害福祉 サービス事業所との連携に努めてまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助 言や研修を受けている	9		専門機関との連携に努め、担当者会議に参加 し、助言を受けています。	今後も会議には積極的に参加し、助言をいただくことでより良い支援に繋げてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流 や、障がいのない子どもと活動する機 会がある		9	コロナ禍のため、これまでは事業所での交流機 会はありませんでした。	通所を公にしたくない保護者様もおられるため、コロナ収束後にはご意見を伺いながら、検討してまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に 参加している		9	今年度はコロナの影響で参加機会は作れません でした。	コロナ収束後には、自立支援協議会の部会員と して参加し、意見等を出し合い、地域活動をお こなっていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え 合い、子どもの発達の状況や課題につ	9		連絡帳にて様子をお伝えし、保護者様とも定期的に情報共有ができるよう努めております。	今後も保護者様と事業所間で細かな情報も伝え 合いながら共通理解を図ってまいります。
	29	いて共通理解を持っている 保護者の対応力の向上を図る観点か ら、保護者に対してペアレント・トレー ニング等の支援を行っている	9		家庭連携の機会に子育てのお悩みやお困りごと へのアドバイスをさせていただいています。	今後も保護者様からのお悩み事やお困りごと等 には、丁寧な対応を心がけてまいります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等 について丁寧な説明を行っている	9		契約時には丁寧にご説明させていただいています。また内容に変更などあった際にも、改めて 丁寧な説明を心がけています。	今後も保護者様に分かりやすい説明を心がけて いきます。 またご要望があれば定期的なモニタリングの際
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する 相談に適切に応じ、必要な助言と支援	9			は、情報収集や職員間の共有をおこない、早急
	32	を行っている 父母の会の活動を支援したり、保護者 会等を開催する等により、保護者同士		9	にお聞きし、助言等に努めています。 今年度はコロナ禍のため、実施出来ておりません。	に対応できるよう努めてまいります。 コロナ収束後に、保護者様のご意向をまとめ、 開催の計画を立案してまいります。
	33	の連携を支援している  子どもや保護者からの苦情について、 対応の体制を整備するとともに、子ど もや保護者に周知し、苦情があった場	9		苦情受付窓口と苦情解決のそれぞれの担当を契約書に景気しています。また実際に苦情を受けた場合、その内容を職員間で共有し、問題解決	今後も快適にご利用いただけるように普段から の取り組みをしっかりおこなうと同時に、お申 し入れをいただいた場合には、問題解決に向け
	34	合に迅速かつ適切に対応している 定期的に会報等を発行し、活動概要や 行事予定、連絡体制等の情報を子ども	9		に向けた迅速な対応が出来るよう心がけております。  季節ごとの「COMPASSだより」や毎月のこともカレンダーを発行、公式Webサイトやブ	迅速に対応させていただきます。 今後も継続して公式Webサイト、こどもカレンダー、SNS、Youtubeで療育の様子を発信
	35	や保護者に対して発信している 個人情報に十分注意している	9		ログを定期的に更新し、事業所内や活動の様子を発信しております。 鍵付きのキャビネットで書類の保管、管理をおこなっています。また使用済みの書類の破棄に	してまいります。 今後も個人情報の取り扱いに細心の注意を払っ てまいります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思 の疎通や情報伝達のための配慮をして	9		ついてはシュレッダーを使用しています。 児童には特性に合わせた支援方法で情報伝達を おこなっています。 保護者様に説明をする際には、専門用語は避	スケジュール表、絵カードなどで視覚的なアプローチを試しみるなど児童一人ひとりの特性を 把握し、保護者様にも状況に応じた情報伝達・
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等		9	け、分かりやすく伝えられるよう心がけています。 現在までは、地域住民をご招待する等の企画運	
非常時等の対応		地域に開かれた事業運営を図っている 緊急時対応マニュアル、防犯マニュア ル、感染症対応マニュアルを策定し、 開場や保護者に関知している。	9	9	各種マニュアルについては、利用契約時にお伝 えしております。職員間でも共有できるよう定	か勘案してまいります。 いざという時にしっかりと対応ができるよう、 これからも継続して保護者様へ掲示のお知ら せ、また職員への周知をおこなってまいりま
	39	職員や保護者に周知している 非常災害の発生に備え、定期的に避 難、救出その他必要な訓練を行ってい	9			す。 避難訓練は繰り返し取り組むことが大切ですので、今後も年間計画を立て取り組んでまいりま
	40	る 虐待を防止するため、職員の研修機会	9		ます。 虐待防止の研修を実施し、虐待防止について周	す。 今後も事業所内での研修を継続し、職員の意識
	+0	を確保する等、適切な対応をしている どのような場合にやむを得ず身体拘束 を行うかについて、組織的に決定し、	. ヺ 			向上に努めてまいります。 今後も、原則として身体拘束はおこなわない基
	41	子どもや保護者に事前に十分に説明し 了解を得た上で、放課後等デイサービ ス計画に記載している	9		の説明のうえ、承諾を得て支援計画に記載する ようにしています。	本姿勢を守りながら、やむを得ず必要となる場合には、あらかじめ保護者様に同意を得て、支援計画にも記載してまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについ て、医師の指示書に基づく対応がされ	9		アレルギーについては初回アセスメントの際に 保護者様から聞き取り、全職員への周知・情報 共有を徹底し、医師の指示書がある場合は、指	情報は定期的な更新に努め、今後も職員への周 知を徹底し、食物の提供をおこなう場合には細

ヒヤリハット事例集を作成して事業所

内で共有している

43

9

す。

成し、勉強会を設け情報共有に努めておりま

示書に基づいた対応に努めています。

防止や、児童が安全に過ごせるように努めてま

ヒヤリハットが発生した場合には、報告書を作引き続き情報共有し、全職員で意識して、再発

いります。